

里山の明日に向けて

草刈りが大作戦に！？
新たな担い手確保を目指す



草刈りが大作戦に！？
新たな担い手確保を目指す

6月14日、南市原里山連合主催の草刈イベント、「南いさはら草刈り大作戦」が開催されました。何が大作戦なのか？ 月崎駅と上総大久保駅の間の線路沿い、のどろきと呼ばれる地は、かつて竹と雑木で覆われ、雪の日などは列車が通るのもままならない荒れた場所でした。しかし、トロッコ列車も走るようになり、この地をかつてのような開けた場所にしようにと、十数年前に南市原里山連合の各団体と、市役所職員有志、小湊鉄道がタッグを組み、竹や雑木を伐採し、そこに花木や草花を植えて観光名所に蘇らせることができました。この景観を

加茂里山通信

令和7年
夏号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
編集長 征矢貫造

里山会議開催される
次回奉納祭はアートミックスが復活か！？

6月21日に旧里見小学校体育館「里見プラントミュージアム」で、通算26回目となる令和7年度第1回里山会議が開催され、小出市長をはじめ里山団体や小湊鉄道など107名が出席しました。当日急きょ欠席となった主催者である南市原里山連合会長松本靖彦さんは、南市原は少子高齢化が進んでいるが、芸術祭の進展や若者の移住、起業創業が行われるなど発展の可能性が高い。里山連合もこうした活動を応援していくとメッセージを寄せました。

市長からは、令和8年度の圏央道の開通、令和10年度の成田空港の機能強化による発着枠の拡大に伴い海外からも多くのお客様が里山にやってくれて楽しんでもらえるチャンスであり、市として新たな観光戦略を策定し南市原を盛り上げていきたい。また伊豆倉貝議からは、県の補正予算で養老溪谷の観光地づくりとして2億5千万円が付き、県内初の試みで他地域からも注目されている、とそれぞれ述べられました。

また次の芸術祭について市役所芸術祭推進室から、会期は2027年3月から5月、会場は南市原、木更津市、大多喜町と県が主体となって実施すること。芸術祭の名称も「房総国際芸術祭アートミックス」でほぼ決まったという発表がありました。名称には前回封印されていた「アートミックス」が復活するほか、「国際」の文字が久々に使われるそうです。インバウンドを強化すること、また会場も南市原とは親戚のような大

多喜町が加わるというところで、ワクワク感が増してきます。中締めのあいさつに立った、本年3月設立の「ちば高滝観光イノベーション協議会」会長・星野真人さんからは、地域の農地を守っていかなければ美しい里山は守れないという課題認識とともに、圏央道の全面開通を見据え高滝を中心とした南市原で力を含め観光振興に取り組みしていくという力強い意志が表明され、お開きとなりました。

今回は南市原の可能性の高まりが強く感じられる里山会議となりました。地域に住む私たちも市や県が何かやってくれるだろうと傍観するのはではなく、広がる機会も生かし自分たち地域発展に向けて何ができるのか、一層積極的に行動していくことが求められます。

（篠田里山通信員）

のこともありません。初めて刈払機を使う方には講習会を行ったほか、刈払機を持たなくても作業ができるよう道具の無料貸し出しも行いました。目の前を走る列車も当日はのどろきと呼ばれる地は、かつて竹と雑木で覆われ、雪の日などは列車が通るのもままならない荒れた場所でした。しかし、トロッコ列車も走るようになり、この地をかつてのような開けた場所にしようにと、十数年前に南市原里山連合の各団体と、市役所職員有志、小湊鉄道がタッグを組み、竹や雑木を伐採し、そこに花木や草花を植えて観光名所に蘇らせることができました。この景観を

草刈りが楽しいと感じてもらえるイベントになりました。アンケートでは回答者全員が、機会があればまた参加したいと答えるなど、作戦は大成功！次回9月を予定しています。みなさんもぜひ参加してみたいかがでしょう。

青空の下で田植え体験
田んぼを知らない子供たちに忘れられない思い出を！

（征矢里山通信員）

加茂学園の入学式では、新入生が9年生にエスコートされ入場します。加茂学園ならではの光景です。また、2年生による発表も行われました。「かもっこ音頭」に合わせた学校紹介は、新入生も見つづいていました。新入生の保護者の皆様には、お子様の1年後の成長を想像していただけだと思います。来賓の皆様、保護者の皆様と在校生に見守られ、あなたが晴れやかな入学式となりました。



加茂学園は今年で開校13年目となります。4月10日（木）、新たに12名の新入生を迎え、全校生徒131名となりました。

市原商工会議所ニュース
森生ゴルフ体験・お仕事亭

今年度も生徒たちの心身の成長のため、よりいっそう教育活動を充実させ、職員一丸となって指導・支援してまいります。

校外学習「クオードの森」

6月12日（木）、1・2年生が合同で「いちほろクオードの森」へ校外学習に行きました。当日は天気にも恵まれ、生徒たちは園内を元気に散策し、小さな生き物を見つけ、自然の豊かさを感じ取っていました。

今年度は生徒たちの心身の成長のため、よりいっそう教育活動を充実させ、職員一丸となって指導・支援してまいります。

今年度は生徒たちの心身の成長のため、よりいっそう教育活動を充実させ、職員一丸となって指導・支援してまいります。

今年度は生徒たちの心身の成長のため、よりいっそう教育活動を充実させ、職員一丸となって指導・支援してまいります。

今年度は生徒たちの心身の成長のため、よりいっそう教育活動を充実させ、職員一丸となって指導・支援してまいります。

6月半ばから例年になく暑い日が続いています。梅雨時の雨も降らず。真夏の暑さとも始まったのかという天気です。雨はあまり降らなくても草は伸びます。この炎天下でも草刈はやらざるを得ず、こまめな水分補給だけは欠かさないようにしています。

愛車のある幸せな暮らし
応援します！
安全・安心
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL0436-96-0482
FAX0436-96-1293

皆様と共に歩む観光
高く青い空とバス釣り！
高滝湖観光企業組合
TEL 0436-98-1277

（征矢里山通信員）

こつもと紀行番外編 能登半島視察記 前編

能登半島に行く

輪島の朝市に観光で行かれた方は、当時の賑わい・活気・地元の方たちの笑顔を思い出していただきたいと思います。それが今では朝市のあった場所、道路だけが残る、ただの空き地、野原になってしまいました。



2024年の元旦に発生した能登半島の地震災害と、その夏に襲い掛かった豪雨の大災害の大きな爪痕です。現地では今年4月中旬に避難された住民の方は仮設住宅へ移転され、ようやく避難所が閉鎖されました。

私たちは房総半島という半島性を共有しています。特に加茂地区をはじめとする南市原は、大災害発生時には地形的に孤立する箇所も多いと想像できます。能登半島の災害発生時、復旧期・復興期の対処は大いに参考になるだろうという思いで視察してきました。



公費解体が進んで解体作業中のところや、すでに更地になった跡地など、被災の重大さが目に飛び込んできます。

被災者の方たちの話

輪島青年会議所の理事長と輪島市議会の議員にお話を聞くことができました。被災地で被災者が被災者を支えるという究極ともいえる状況で、すでに1年数か月経っています。地震発生時の行動、直後の物資の受け入れや配送、避難所の様子、訓練で役立ったこと、足りなかったこと、やっておけばよかったこと、多くの参考になるお話を聞くことができました。

- ・避難訓練は活きたが、報道されない困りごとが「トイレ」だそうです。
- ・普段から、避難所のリーダーを養成しておいたほうが良い。これは、町会長等の、その時の役職ではなく、地元の調整役、簡単に言えば顔役みたいな影響力、調整能力がある人を事前に何人か選んでおく、避難所の運営がスムーズで効率よく回ります。
- ・避難訓練は活きたが、報道されない困りごとが「トイレ」だそうです。
- ・普段から、避難所のリーダーを養成しておいたほうが良い。これは、町会長等の、その時の役職ではなく、地元の調整役、簡単に言えば顔役みたいな影響力、調整能力がある人を事前に何人か選んでおく、避難所の運営がスムーズで効率よく回ります。

「3人もすれば、汚物の山で衛生面も見た目もダメになっちゃう。実際にやった経験がないからイザというときにこういう結果になるんす。」

・住宅の半壊は助成金で解体ができますが、生活の再建やスピードを考えれば、安易な解体より修繕を考慮するほうが結果としては良かったのではないかと反省しています。（理事長の仕事は工場のこと）

水と電気がない暮らしの大変さ。市街地でも2週間、山間部では1か月。それでも輪島は水道の浄水場が点在しているから、そこから給水車で運搬する体制ができた。しかし、道路が寸断されているから、給水車でけでなく、消防車両や軽トラに水槽を積んだりして地域で賄う努力もしたそうです。

実体験から出た貴重なお話を、時間が過ぎるのを忘れるくらいお聞きすることができました。

市原市は水道事業の効率化のために地下水系の浄水場を減らしてきています。それでも各避難所に井戸を掘っていますから、井戸が稼働すれば水に関しては確保できそうです。特に加茂地区には上総掘りの井戸が点在していますから、普段から車が着けられるような周辺の整備も必要かもしれません。

市原市を襲った令和元年の災害で、地域によつては2週間を超えるような停電の経験があつて、発電機を購入された方が多いのですが、そうした「自助」の蓄積も災害時には大きかったと思います。

仮設住宅

対応していただいた輪島市議会の議員のお計らいで、仮設住宅の中も見ることができ、お住まいの方のお話もお聞きすることができました。



2人用の様式で、4畳半程度の居室に押し入れ。これに簡単なキッチンとお風呂とトイレ。中に入ってみるとやっぱり狭いです。ここにいらっしゃる方は、お住まいの方は布団だそうで、日中は押し入れにしまつてあるそうですが、ベッ トじゃなければというような高齢夫婦だと、それだけで部屋

2025年夏の里山生活

米をめぐる話

1ページの田植え体験の時にあひさに立つた県議と市議の方から、このあたりの加茂の米は美味しいと話がありました。昼と夜の寒暖差があること、水と粘土質の土の話などもありました。美味しいかどうかは比較の問題にもなりますが、商売用毎日米をといで炊いている一人として、加茂の米、飯給の米を使っています。は美味しいと思います。電気よりはガスで、水道の水よりは天然水で炊くほうがおいしく、精米したてならなおさら美味しいと思います。ごくたまに行くと茂原の焼き肉屋のゴハンが本当においしくて、一度聞いてみたその日使った米を毎日精米しているとのことでした。



と企画したイベントだったようです。米不足が騒がれ、減反政策の見直しと米の増産と場当たり的なことが言われていますが、生産者の高齢化と減少こそが最大の問題で、生産者米価の見直しを含めた安定した収入の保証と魅力ある職業としての支援策、そして日本人の主食である米を作る大切な仕事であることを消費者にも深理解してもらうことがなければ、次の担い手となる人たちが出てくるという状況にはならないのではないかと思います。

青々とした稲が風に揺れる田園風景は美しく、稲穂をたたえた収穫期頃の黄金色に輝く景観も本当に美しいと思います。安定したコメの供給のためにも、長期的な視点に立つた対策が今こそ必要であると思います。（従兄里山通信員）

消防操法競技会開催される

加茂師団大会



令和7年度の消防操法加茂支団大会は5月18日（日）曇天、強風の中、昭和村の駐車場を会場に開催されました。

大会の結果は第2分団（在 原秀典分団長 高滝・高滝第2・大和田・馬場・不入が優勝、令和5、6年に続く3連覇を達成しました。

◎優勝 第2分団 指揮者 相川徳光※ 1番員 中村 満※ 2番員 平田貴士 3番員 在原秀典 補助員 武 純弥

市原市大会



市原市消防団では市原市総合防災センターを会場に、6月15日（日）に操法競技会を開催しました。市内の各支団の代表訓練の成果を表す競技会となります。前夜からの雨は早朝には上がりましたが、路面は濡れ、前線の通過による強風が吹く中の競技になりました。加茂支団を代表して出場した第2分団の強風がまさに逆風となって吹き付けました。

「操作初め」の号令から、見事にホースを延長し「放水始め」の声

とともに放水が始まるうかというまさにその時、逆風が吹きつけました。水が的に届かない。5秒、10秒、15秒。無情にも時間が経過していきます。見たこともない状況に、会場からはじよめきのような声が広がりました。

それでも結果は総合3位となり、1番員の中村満副分団長と2番員を務めた平田貴士班長が個人表彰となるなど、立派な成績を収めました。（大曾根T里山通信員）

夏の山歩き準備

夏バテ防止に「シシユース」

暑くて疲れて食欲がない時も、飲めばすっきり。材料：赤しそ400g、砂糖800g、米酢500ml、水2L



しそは葉だけをつまみ、水でよく洗い水気を取っておく。鍋に水を入れ沸騰させ、赤しそを加え中火で15分位煮ます。葉の色が緑色に変わったら火を止めてしそを引き上げる。再び中火にかけて砂糖を加えて、煮溶かす。火を止めて、米酢を加えよく混ぜる。酢を加えると鮮やかなルビー色変わります。保存瓶に入れて冷蔵庫で保存してください。

「ゴーヤの佃煮」

材料：ゴーヤ（正味）500g、小女子100g、砂糖60g、ザラメ60g、しょうゆ100cc、いりごま大さじ2、かつお節15g



ゴーヤは種とワタを除き5mm幅に切る。小女子はサッと湯通しをする。赤唐辛子は種を除き小口切り。大き目の鍋に湯を沸かしゴーヤをいれ、

納涼盆踊り大会

日時 8月2日（土） 18:00~20:00
会場 市原市万田野732番地6 昭和村
主催 社会福祉法人 昭和村 協賛 万田野友会
かき氷・水ヨーヨー・飲み物 無料
豪華景品の抽選会も行います。

ちほろ台自治会連合会 加茂地区に來訪



ちはら台地区自治会連合会が5月24日（土）研修会で総勢25名にて加茂地区を来訪されました。市原市連合会を通してちはら台地区と加茂地区は令和6年度より紅葉、桜、ひなまつり、マルシェなどの交流を深めています。交流を経今年にはちはら台の自治会連合会の研修旅行が加茂地区に選んで頂きました。コースは加茂学園運動会・チバニアン・クオードの森・ファーマーズ・マルシェ・湖群美術館「黄金コースです」

特に加茂学園の運動会は是非コースに入りたいというところ、急遽コースを追加して見学、激励に來くれました。とても有意義な研修でしたと広報報はちはら台に掲載して頂きました。特に運動会で今年入学の1年生と9年生が1つの大玉を、一緒に楽しそうに転がっている様子がとても微笑ましく、印象に残ったとの研修会の記事を拝見させて頂きました。

ちはら台は加茂と違って児童も多く、加茂では当たり前の保護者単位でイベントを貼って応援する姿は見られず（ぎゅうぎゅう立ち見）羨ましいとの声も聞けました。

市原市の最北、最南、また児童増加のちはら台と児童減少の里山加茂の両極端な地域の交流は、新しい発見もあり楽しいものです。この和を大切にしたいと思ひます。引き続きよろしくお願い致します。（加茂地区町会長 石川亮一）

人と環境が一体となって大切な未来へ

自然環境と人間との調和を目指して

杉田建材株式会社

本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311

市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511

南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL http://www.sugita-group.com/

HONDA The Power of Dreams

— ホンダの夢 市原へ —

Honda Cars 市原

■ 五井中央店 ☎ 0436-24-1111(代)

■ 馬立店 ☎ 0436-95-5050(代)

H P : https://www.hondacars-ichihara.co.jp/